

よいことのために
手を取りあおう



◆◆ 本年度会長方針 ◆◆

「ロータリーの原点にかえり、高めよう倫理観」

例会日/毎週月曜日 12:30～13:30
例会場/広島サンプラザ TEL (082) 278-5000
会長/梶田 滋 幹事/藪園 泰夫

事務局

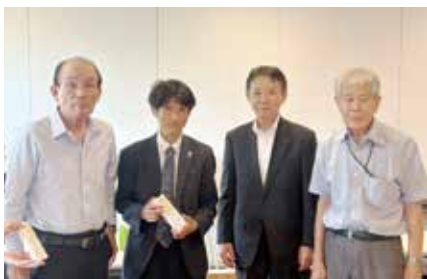
〒738-0015 広島県廿日市市本町5番1号
廿日市市商工保健会館4F
TEL (0829) 31-5490 FAX (0829) 31-5491
E-mail / office20@h-hrc.com
URL / http://www.h-hrc.com/

第1206回 石内ペノン(ECHEL) 2025年9月1日

会長時間

「理事会報告」

副会長 石原 弘善



誕生祝

卓 話

「水と土の話」

有田 伸治 会員



第1207回 広島サンプラザ 2025年9月8日

会長時間

会長 梶田 滋



誕生祝

グループ7ガバナー補佐
田上剛 様 来会

卓 話

「排泄ケアから始める
持続可能な介護施設経営」

egaaloop代表 岡本 明美 様

皆様こんにちは。排泄ケア業務改善コンサルタント代表の岡本と申します。この度は広島廿日市ロータリークラブ様でegaaloopのお取組みについてお話させていただく機会を頂戴致しまして誠にありがとうございます。

私がegaaloopを立ち上げたのは約3年前になります。それまでは、オムツメーカーとオムツ販売店で約20年間オムツの販売とサポートで排泄ケアにかかわるお仕事をさせていただきました。その中で感じた事は、3大介護の排泄・入浴・食事の中でもっとも重労働な排泄ケアを最適化する事で排泄ケア以外の業務もスムーズに回り、沢山のメリットがある事を強く感じ、全国初の排泄ケアに特化したコンサルタントを起業することとなりました。

今どの業界でも人材不足、離職などが問題になっておりますが、介護業界は特に深刻な状態です。持続可能な介護施設経営をしていくには、スタッフのモチベーションの向上と働きやすい環境づくりがとても重要なポイントだと私は考えております。

では、介護離職の理由ですが、①体力的に大変②給与が少ない③人間関係が難しい④休みが少ない、、、などの順になっております。egaaloopは排泄ケア改善プログラム(IQxEQ)を通じて、これらを改善していくノウハウがあります。テクノロジーがいくら発展してもそれを使いこなす、技術、知識がないとテクノロジーは何の役にも立ちません。このプログラムにより、スタッフはテクノロジーを効果的に活用でき、学ぶほど楽になり、技術を身に付け、自分たちで解決できる能力が付き仕事に自信を持つことができ、遣り甲斐にもつながります。このプログラムの経験を通して、スタッフ自ら他の業務でも同じように取り組む事ができ



るようになる事で、施設全体の好循環の生まれてます。
 なんとなくの介護から科学的に分析でき解決できる
 ノウハウを身に着けていただく事はとても重要なポイ
 ントです。

egaoloopの排泄ケア改善プログラムを通じて、高齢
 者施設の持続的な運営に貢献できれば幸いです。

第1208回 純葉

2025年9月22日

会長時間

「理事会報告」

副会長 石原 弘善

卓 話

薬物乱用防止ヤングキャンペーン
 「山陽女学園インターアクトと広島
 廿日市ロータリークラブの街頭活動」

渡邊 英晶 会員（薬物乱用防止協議会指導員）



第1209回 広島サンプラザ

2025年9月29日

会長時間

会長 梶田 滋

本日はガバナー公式訪問です。土肥ガバナー、田上
 ガバナー補佐、古本随幹事、ようこそ広島廿日市ロー
 タリークラブにお越し下さいました。

私が当クラブに入会したのは2000年7月です。その
 時のガバナーは本日お越しいただきました土肥ガバ
 ナーの父上でした。その年の地区大会に出席した時
 のご挨拶で、土肥ガバナーは情が深く・感激屋さんだ
 ということをよく覚えています。申し訳ないのですが、
 地区大会での他のガバナーの挨拶はほとんど覚えてい
 ません。

本日お越しいただきました土肥ガバナーは、東広島
 21クラブの会員になります。東広島21の会員数は21名
 で、当クラブは23名とほぼ同じ規模になります。クラ
 ブ会長を2回経験されています。私が入会した年の印
 象深いガバナーの父上といい、クラブの規模といい、
 会長2回経験者であることといい、非常に近い思い
 を抱いています。本日は卓話、クラブフォーラム、よ
 りしくお願いいたします。

卓 話

「ガバナー公式訪問」

 国際ロータリー第2710地区
 土肥慎二郎 ガバナー


皆さん、こんにちは。本年度ガバナーを務めます、
 東広島21RCの土肥慎二郎です。今日は、私の45回目
 の公式訪問になります。どうかよろしくお願いしま
 す。広島廿日市RCは1995年5月8日に、広島西南RC
 をスポンサーとして創立されたと聞いております。
 その年度のRI会長は、イギリスのビル・ハントレー、
 テーマは「友達になろう」でした。思いやりを持った
 信頼を持てる人たちと友達になって、地域社会に貢献
 しましょう、と言われました。ところが、今年度より
 国際ロータリーは、RI会長のテーマを廃止しました。
 理由は簡単です。2017年に発表したロータリーのビ
 ジョン声明とそれを実現するためのロータリーの行動
 計画がなかなかクラブに浸透しないからです。

最近のRI会長のテーマを並べてみました。

2022-23年度 石原会長
 ジェニファー イマジン・ロータリー
 2023-24年度 有田会長
 ゴードン 世界に希望を生み出そう
 2024-25年度 渡邊会長
 ステファニー ロータリーのマジック

このように、RI会長が毎年違うテーマを出され、そ
 れに則ってクラブを運営する、これではいつまでたっ
 ても「ロータリーのビジョン声明」が浸透するはずが
 ないのです。2000年ごろより、世界のロータリアン
 の数は減り続けています。そして毎年16万人が入会
 して、17万人がやめている、しかもそのうちの2万人は
 入会3年未満の会員である、このような現実がありま
 す。これに危機感を覚えた国際ロータリーは、組織に
 問題があるのでは…と考えました。なんで会員は辞め
 ちゃうんだろう？ なにが物足りないのだろう？ そ
 して全会員からアンケートを取り、専門家の意見も取
 り入れ、今後ロータリーという組織がどのような組織
 になったらいいのかを謳ったのがこの声明です。

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身
 の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手
 を取りあって行動する世界を目指しています。」

わたしは、この声明のポイントは2点あると思いま
 す。ひとつは、ロータリアンが手を取り合って行動す
 ればもっと素晴らしいことが出来る、ということ、そ
 してもう1点は自分自身の中で…という部分、これが
 私は一番重要なポイントだと思っています。札幌東
 RCに塚原さんというパストガバナーがおられるので
 すが、次のように言っておられます。

「ロータリーは困っている人を助けてあげることだと思いがちですが、実際は助けられているのは自分の方かもしれません」みなさんどう思われるでしょうか？そしてこのビジョンを実現するために「ロータリーの行動計画」が発表されました。この行動計画は4つの優先事項からなっています

「より大きなインパクトをもたらす」

これだけを読みますと、多くの人はポリオの根絶をはじめとする規模の大きいプロジェクトを想像されるのではないかと思います。そして「クラブ単独でそんなに大きなことは出来ないよ」そのように思われる方もおられるかもしれません。ところが、ここでいうインパクトとは規模や成果の大きさを表しているのではありません。ロータリーの行動計画でいうインパクトとは、そのプロジェクトが、いかにその人たちの人生を変えたか？ということなのです。

昨年度国際ロータリーのアーチック会長は、ダイエットを例にしてこのように言われました。ダイエットにおいては、体重が何キロ減ったのか？というのが大切なわけではありません。いかに健康になったか？ということが大切なのです。そのように考えますと、我々ロータリアンが行なう地元の地域社会への様々な活動は、どれもが、意義深い、インパクトのあるものになり得ると思います。広島廿日市RCが以前行った「暴走族の脱会サポート活動」、これはRIから「意義ある業績賞」を受賞されましたが、非常にインパクトのある活動だと思います。また山陽女学園高等部IACの提唱や、ゆうほロータリー地域社会共同体との活動その他、地域社会に根差した活動は大変意義深いものだと思います。と同時に、私たちは同じ志を持った、世界中120万人とつながったネットワークですので、ロータリー財団を通じての大規模なプロジェクトにも目を向ける必要があります。これは寄付、という形で、私たちは、いつでも自発的に行うことが出来ます。皆様方の善意をいただけましたら幸いです。

続いて「参加者の基盤を広げる」ですが、これはその名の通り会員を増やすことです。今年の国際協議会でも、多くの演者が会員増強の大切さを訴えました。そして「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」これも、会員増強にもつながる話だと思いますが、要は「会員がクラブに何を求めているか？」ということを実際に考えなければならぬ、という事だと思います。ロータリーって組織は結構アンケートが好きで、あちこちでアンケートをとっています。会員がロータリーに求めるものとして、国によって違いがあるそうです。

日本においては最も多かったのが「親睦」でした。それがアメリカでは「倫理観」です。世界全体でみると「情報の透明化」これが最も求められていることのことでした。それから日本のロータリアンに「あなたにとってロータリークラブの価値とは何ですか？」と聞いてみたそうです。皆さんはどう答えますか？一番多かったのが「自己研鑽、学習、成長」だったそうです。2番目は「地域社会への貢献」3番目は「生涯の友人、そして魅力的な仲間」だったそうです。それから年齢別での傾向として、若い会員は「人脈が広がる、とか、事業の機会がアップする」これを求めているのに対して、比較的高齢の会員さんは「生涯の友人、魅力的な仲間」これを求めている傾向があったようです。世代間のギャップということを考えるうえで、参考になるかもしれません。それからDEI、ロータリーでは、会員一人一人にとって、居心地がよく、帰属意識が持てるクラブ運営が何より重要だと考えております。そし

て、この声明に基づいて、昨年度国際ロータリー会長エレクトだった、ブラジルのマリオさんが、このメッセージを発表しました。

「よいことのために手を取りあおう」

現在、ロシアとウクライナが戦争をしています。イスラエルとハマスもそうです。このような分断されがちな昨今において、「一緒に手を取りあって、いいことをしましょう！」そういったシンプルかつ力強いメッセージだと思います。ところが突然6月に会長エレクトの職を辞任されました。理由はよくわからないのですが、相当な事があったのだと思います。そして、新しい会長としてイタリアのフランチェスコ・アレツォさんが就任されました。「継続性」を重要視するRI理事会は、年度メッセージの変更をしませんでしたが、私はこの新会長よりメールをいただいたときに、大変驚きました。前任者のマリオさんは、何が何でも「会員増強」、その重要性を述べられておりました。ところがアレツォ会長は、「会員同士の信頼と友情」、それが大切だと言っています。そして、「変革とは戦略から始まるものではなく、一人ひとりの人格や接し方から始まる」、そのように言っています。そして、ロータリーは私たちを変えてくれます。

そのために「よいことのために手を取りあおう」というメッセージをあらためて投げかけられました。広島廿日市RCでは、その全文を事業計画書に載せていただいておりますこと、感謝を申し上げます。

さて話は変わりますが、ロータリーが誕生して今年で120年が経過しております。ロータリーを作った人は、ポールハリスという青年弁護士でした。アメリカのシカゴという街で、弁護士事務所を構えて商売は繁盛していました。しかしながら弁護士を依頼してくる人は、私利私欲のために嘘をつく人ばかりだったので、そんな人たちを相手にしているのが寂しくなったそうです。そこで業種の違う人たちを集めて、社交クラブを作りました。会場を一定にせず、場所を変えて例会を開いたのでロータリーと名づけられました。ロータリークラブに集まる人は、事業家や職業人なので、話題は商売の話が中心になります。しかしながら一業種一人なので競争がなく、会員は他人とは思えないくらいに仲が良くなり、お互いの恥を平気で話し合っ、困ったことは相談しあう、慰めあう、進んでお互いを助け合う、そのような親睦が生まれました。

さらには会員同士の利益を目的としての商業取引も行われるようになったそうです。当時の定款には、クラブの目的は「会員の親睦と事業拡大の増進」と書いてあったそうです。しかしある日、この定款を見たある人がこのように言いました。

「こんな仲間だけのことを考えているだけのクラブは長続きしませんよ。会員以外の人たち、そして地域



社会に役に立つことをした方がいいでしょう。それなら私も喜んで入会しますよ」そのように言ったそうです。これを聞いたポールハリスは定款に「シカゴ市の最大の利益を図り、市民として忠誠を尽くす」という一文を追加しています。そしてクラブが最初に行った活動が、シカゴ市への公衆便所設置運動でした。当時のシカゴにはお客さん用のトイレが、百貨店もしくはパークくらいにしかなかったそうです。そこで、トイレを使いたい通行人は、百貨店で何かを買うか、バーで一杯ビールを飲む必要がありました。そこでポールハリスは、抵抗する団体を抑えて市内2か所に公衆便所を設置しました。そのおかげで多くの市民が安心してトイレを使うことが可能になったわけです。このようにロータリーの最初の奉仕活動は、単に金銭を渡すだけではなく、市民生活に影響を与えるような、いわゆる地域社会に「インパクトをもたらす」活動だったのです。

奉仕、サービス、という言葉をもとにロータリーに持ち込んだのは、シェルドンという人です。経営学者であった彼は次のように言っています。自分の事業が発展するためには、自分のもうけを優先するのではなく、まずお客さんのことを考えてください。そして、その得られた利益は自分が独占するのではなく、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分すること、そうすることで最終的には継続的な事業の発展につながるようになります。これを「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」という言葉で表現しました。この職業奉仕を実践することによって、ロータリーの会員の職場は活気を取り戻して、成功者も多くなり、ロータリアンは信念を持つことが出来ました。そして「利他の心」をもって行動することは、単に職業を成功させるだけではなく、社会をも良くする、のちに「超我の奉仕」という言葉が生まれました。この2つの言葉をロータリーでは「奉仕の理念」と呼んでおります。これが初期のロータリー思想の歴史ですが、この「奉仕の理念」を実践しようとしたロータリアンを紹介いたします。

それはカーネル・サンダースさん、皆さんご存じのケンタッキー・フライド・チキンの創業者です。1920年、29歳の時に、アメリカ、インディアナ州のロータリークラブに入会しました。そこで「他の人に最高のサービスをする人が、最も利益を得る人だ」ということを学びます。そして、その後ケンタッキー州にうつり、ガソリン・スタンドの経営を始めました。当時のケンタッキー州は道路が舗装されておらず、車はどれも埃まみれで走っていたそうです。そこでサンダースさんは、車が店に来ると、まず車の窓を洗うことにしました。そして、ラジエーターの水やタイヤを点検して、最後に「ガソリン入れましょうか？」と聞いたそ

うです。当時そういうサービスはほとんど無かったようですが、彼は、道を聞くためだけに店に入ってきたお客さんにもそのようにしたそうで、これが評判となり店は繁盛しました。それでも、なおサンダースさんは「来る人にもっと喜んでもらえること」を常に考えていました。ある日、お客さんのほとんどがおなかを減らしていることに気づきます。

「車にガソリンが必要なように、お客さんにはおいしい食事が必要だ」そのように考えました。そして「サンダース・カフェ」という、たった6席しかない、小さなレストランを併設しました。元々、彼は料理が上手だったそうです。なぜかというところ6歳の時に父親を病気で失い、働きに出ていた母親の代わりに小さい弟と妹の面倒を見ていたからです。料理の方法や味付けのコツを子供のころより母親から学んで、家族のために料理を作っていました。そして単に料理が上手なだけではなく「人が喜ぶ料理を真心を込めて作る」という信念を持っていました。シェフの仕事のみならず、洗い場、レジ係を一人でこなし、店には「おいしくなかったらお代は結構です」とまで書いてあったそうです。特にフライド・チキンは人気があり、それが美味しいということで店は繁盛したそうです。さらに人に喜ばれるために考えたのがモーターでした。

「旅行者は安心して心地よく泊まれるところを探している」ということで店のそばにモーターを作りました。また仕事以外でも、他人に喜ばれることが生きがいであったサンダースさんは、街の孤児院をたずね、恵まれない境遇の子供たちにアイスクリームやお菓子の提供をしています。特にクリスマス日にはターキーを料理して毎年のように訪問していたそうです。サンダースさんが救ったのは子供だけではなくありません。アルコール中毒患者の更生にも積極的に取り組んでいます。時にはアルコールを絶たせるために自分のモーターを使わせたこともあったそうです。こういった功績から44歳の時、ケンタッキー州知事から、カーネル、陸軍大佐の名誉称号を受けました。このように「一生懸命働き」そして「人の喜ぶことを真心を込めてした」サンダースさんですが、良いことばかりではありませんでした。49歳の時、レストランが火事で全焼してしまいます。また65歳の時には、近くに高速道路が出来たために店の客さんが減り、店が破産してしまいます。たくさんの奉仕をしたにもかかわらず、結局は報われなかったのです。さて彼はどうしたのでしょうか？このまま年金生活になる方法もありましたが、最後まで一生懸命働くことを選択しました。彼にはフライド・チキンが残っていました。評判の良かったフライド・チキン、その作り方に改良を加えました。そして圧力釜を用いて、彼にしかできないフライド・チキンを完成させました。そしてそれをレストランで提供するのではなく、作り方を教えて、各レストランのメニューとして出してもらい、そしてチキン1ピースにつき数セントのロイヤリティーをもらう、というまさにフランチャイズ契約のはじまりともいえる事業を始めました。最初はなかなか契約が取れなかったそうですが、彼にはチキンへの絶対的な自信がありました。1軒1軒店を回って根気よく説明し、納得の話し合いが出来れば契約したそうです。時には自分からパスする店もありました。調理場が清潔でない店や、サービスの行き届いていない店とは契約しませんでした。そこで用いた原則が、次のことです。

そのビジネスに嘘偽りはないか？ そのビジネスは関係するすべての人に公平なものか？ そのビジネスは良好な人間関係を作っていくものか？ そのビジネス



スは関係するすべての人にとって有益なものか？

どこかで聞いたことがあるテストです。こうして1年間で7つの店と契約を結び、すべての店が大繁盛します。すると今度は店のほうからサンダースさんへ連絡が来るようになり、4年後にはアメリカで200店舗、さらに5年後には600店舗となり、アメリカ最大のフランチャイズレストランとなりました。こうして65歳の時にすべてを失った人が、ケンタッキー州で最も有名な人といわれるまでになりました。彼は晩年のインタビューで「あなたが得たもので一番うれしかったことは何ですか？」と聞かれた時に「孤児院の子供たちが私をサンタクロースのように慕ってくれたことです」と答えています。先日、この、世界で最も有名なロータリアンと2ショットを撮りました。彼の胸には私と同じロータリーのバッジがついていました。みなさんもケンタッキー・フライド・チキンに行ったときは見てみてください。

さて話は変わりますが、現在、国際ロータリーの最優先事項はポリオの根絶です。「あと少し」といわれて数十年が経っておりますが、私はこの活動を支持しています。なぜなら、医学的に根絶が可能だからです。ポリオの原因となるウイルスは人の中でしか生きられません。ですから、一旦根絶してしまえばこの地球上からなくなります。ポリオワクチンには2種類あり、口から飲ませる経口のもの、ウイルスの毒性を減らしたものを注射で投与するものがあります。日本でも2012年まではこの経口ワクチンを使っていましたが、今ではより安全な注射での投与をしています。パキスタンのような貧乏な国ではまだこの経口生ワクチンを使っています。1本が3ドル、40滴の量があります。一人2滴飲ませるので、20人分となります。一人当たり20円くらいになります。パキスタンの出生数は年間630万人であります。日本の9倍です。死亡率も高く、新生児死亡は1000人当たり40人、25人に一人は亡くなる計算です。それでも5歳以下の子どもは推定で4400万人といわれています。しかもちゃんとした戸籍のようなものはありません。そこでは「見つけたら片っ端からワクチンを飲ませる」という方法をとっています。これは高速道路でのバスの中での投与です。バスのすべてを軍が止めて、ワクチンを飲ませることが義務づけられています。3人でチームを組んでバスに入っていきます。写真の後ろには、銃を持った軍人がいます。

こうやって私たちを守ってくれているのです。バスの中の様子です。左側がワクチンを飲ませるところ、右が指に印をつけているところです。こうやって投与が済んだ子供の左の小指にマジックで印をつけていきます。そして印のない子を見つけてはワクチンを飲ませる、こんな原始的なやり方でワクチンは投与されています。ワクチンの投与は、バスや列車の中でするものもありますが、多くは戸別訪問、家に直接出向いて投与をしています。ちゃんとした家もあれば、そうでない家もあります。イスラム教では、家族以外の男性は家に入ることができないので、女性が多く活躍しています。彼女たちのようなワーカーがパキスタンには40万人おられます。パキスタンでは、宗教的な理由でワクチンを拒否する家族もおられます。特に過激な思想の人はワクチンを西側のものとして毛嫌いされる人もいます。悪態をつかれたり、突き飛ばされたり、殴られたり、時には殺されることもあるそうです。そんな危険なところで、1日8時間、週5回働きます。給料は1か月22000円です。それでも皆、誇りを持ってこの仕事をしています。ジェンダーギャッ

ブ指数というのがあります。これは男女格差を数値化したものですが、パキスタンは148位と「ドベ」でした。そういった中で、ポリオワーカーとしての教育を受けることができたこと、そしてこの仕事が自分の国の子供たちの役に立っている事、それが彼女たちの献身的な活動のモチベーションとなっています。

チーム・ポリオ・ジャパンのメンバーです。驚いたことに、パキスタンにチームとして入っている国は、しばらく日本以外にありませんでした。今は、フランスやベルギーからも入っています。大体15名くらいのメンバーで、年10回、我々日本の仲間が前線で頑張っています。

ただ私は、この活動に参加して思ったことがあります。その一つは、やはりワクチンを正確に子供に投与するのが自分は下手だなあ、ということです。プラスチック製の容器がぼろいこともあって、2滴ぴったり落とすのはコツが要ります。ポリオワーカーの方は約1秒で投与するのに、私のような素人は時に10秒以上かかたりします。下手をすると、何滴も投与してワクチンを無駄にすることもあります。私が社会に貢献する一番の方法は、ここではなくて、自分の職場なのだ改めて思いました。

それから、日本に帰ってきて思ったことがあります。それはポリオを根絶出来たら、とてもいいことがあるという事です。先日の報道で、日本の出生数が70万人を切った、というニュースがありました。それでもポリオがあるうちは、ワクチンとして一人20000円かかります。日本ではより安全な不活化ワクチンを投与するからです。70万人いれば140億円、もしポリオが根絶されれば、毎年それだけ浮くことになるのです。そしてこの人たちは、インドでポリオに感染した人たちです。歩くことも困難で、物乞い以外の職業に就くことは出来ません。ポリオを根絶して、このような子供のない世界を目指したい、そのためにも、これからも皆さんのご協力をお願いいたします。

ところで、シカゴにある国際ロータリーの本部の会長室にはこんなものが置いてあるそうです。「ロータリーに入る10の理由」とあります。奉仕する機会、とか自己の成長、とか友情とかありますが、最後にあるのが「楽しい」であります。私の今年度の願いは、「地区の皆さんがロータリーを楽しむことです」「ロータリーを楽しむ」ということは、ロータリーを知ることだと思えます。皆様のクラブの例会を魅力ある価値のあるものにする、ことだと思えます。クラブで楽しいイベントを企画する、ことだと思えます。いろいろな奉仕活動、その達成感を楽しむ、ことだと思えます。次の世代の若者たちの成長を楽しむ、ことだと思えます。自分の人生を豊かにする、ことだと思えます。そして、最終的には「世界の平和」という大きな夢を描いていただきたいと思っております。

最後のスライドです。「よいことのために手を取りあおう」広島廿日市ロータリークラブの今後のますますのご発展を祈念して話を終えたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

第1210回 石内ベノン(ECHEL) 2025年10月6日

会長時間

会長 梶田 滋

9月29日のガバナー公式訪問が無事終了し、ホッとしています。皆様、ご協力ありがとうございました。

ところで、皆さんは昭和20年9月17日に枕崎台風により、大野にあった陸軍病院が土石流に飲まれ、多数の犠牲者が生じたことはご存じでしょうか。私もこの災害については約40年前に初めて知りました。土石流被害を受けた陸軍病院は、今の宮浜温泉にありました。この時、原爆被害の調査に来ていた京都大学医学部や理学部の教官や学生など11名の方々も犠牲になっています。宮浜温泉で多くの庭石がある宿泊設備は、この時の土石流で流されてきた岩石を利用して作られたようです。

9月14日(日)に「さくらびあ」で、「枕崎台風による大野陸軍病院の惨禍の伝承」という講演会が開催され、私も参加してきました。メイン講演は、柳田邦男さんと、京都大学の久保達彦教授の講演も行われました。久保教授は、柳田邦男さんが書かれた「空白の天気図」を引用しながら、「惨禍の現代性」として主に次の3つのことを講演されました。

1) 原爆被害と台風被害の「複合災害」であったこと。

原爆被害について京大の医療関係者が調査に行くことに躊躇する者もいたが、最終的には声をかけた全員が参加したとのことでした。

医学関係者としての使命感からの行動であったとのこと。

2) 自らの業務をやりとおすこと。

京都大学の関係者を始め、広島地方気象台は8月15日にも天気図を作り続けており、これも自らの使命感からくる行動であった。しかし、枕崎台風が広島に接近していることを気象台では最大限の努力で察知していたが、通信手段がなく大野の陸軍病院には連絡できなかったようです。

3) データを取り続ける執念があったこと。

この基本姿勢があったことで、広島県では「J-SPEED」という災害時の医療支援システムが確立され、WHOの国際標準にも採用されています。

これらの3点は、職業を通じての奉仕活動であり、ロータリーの「職業奉仕」に相通じるところがあると思います。大野陸軍病院の惨禍から、改めてロータリーの「職業奉仕」を考えた次第です。



誕生日祝

卓 話

「会社の生い立ち」

岡崎 浩昭 会員

第1211回 ウッドワン「ショールーム」 2025年10月20日

職場訪問例会

会長時間

「理事会報告」

副会長 石原 弘善



同好会活動

将棋同好会

9月1日 石内ペノン「ECHEL」

藜園、田濱



カラオケ同好会

10月21日 居酒屋みちくさ／ねこ娘

江草、石井、石原、野村、岡崎、坂根、植田



スマイルボックス

9月

土肥ガバナー、田上ガバナー補佐、今川、石井、井伊、河内、梶田、永井(勝)、永井(賢)、野村、大藤、藜園、坂根、渡邊、吉本

10月

今川、梶田、岡崎、高尾、渡邊